

13:30～	受付開始	
14:00～14:10	開会挨拶	大和敏彦 日本クラウドセキュリティアライアンス副会長
14:10～14:50	基調講演	クラウドサービスの安全性評価制度の検討について 関根悠介氏 経済産業省 商務情報政策局 情報経済課 課長補佐
14:50～15:00	質疑応答	
15:00～15:30	ワーキンググループ・セッション 1	Blockchain 技術を用いたセキュリティ 1. ブロックチェーン技術で Identity をセキュアに扱うためには 2. IoT セキュリティのためのブロックチェーン技術の活用について 間淵昌宏、BlockchainWG リーダー 日本電気株式会社 稲垣正俊、BlockchainWG アイデンティティ・サブグループ リーダー 日本電気株式会社 田沢一郎、BlockchainWG IoT サブグループ リーダー アイビーシー株式会社 ブロックチェーンの特性を鑑み、Identity をセキュアに扱うための考慮点、方法論について講演します。また、2018 年 10 月に公開された「IoT セキュリティのためのブロックチェーン技術の活用」をガイドラインとして、その要件と実装について日本国内での技術を用いて検証した内容について講演します。
15:30～15:40	質疑応答	
15:40～16:00	休憩	
16:00～16:30	ワーキンググループ・セッション 2	DevSecOps のユースケースと、DevSecOps がもたらす未来 釜山公德、クラウドセキュリティワーキンググループ リーダー 日本電気株式会社 デジタルビジネス基盤本部 (兼)サイバーセキュリティ戦略本部 (兼) 金融システム本部 テクニカルエバンジェリスト 目紛しいクラウドによる環境の変化には DevSecOps は無くてはならない存在！ とはいえ、DevSecOps とは具体的に何であり、どのようにやっていくかはよくわからない。そんな頭を悩ませる方へ、信頼されるアプリケーションの構築に対して、クラウドセキュリティワーキンググループが考える DevSecOps を解説いたします。
16:30～16:40	質疑応答	
16:40～17:10	ワーキンググループ・セッション 3	ユーザー企業における CASB を用いたクラウド統制の実際 渡辺慎太郎、CASB ワーキンググループ 株式会社ジュピターテレコム サイバーセキュリティ推進部、マネージャ DX 推進のかけ声の下、利用部門が主体となってクラウドサービスを採用するケースが増えています。こうした中、事業のスピードを止めることなく適切な統制をはたかせるためには、利用部門・統制部門双方が使いやすい環境づくりが必要です。私どもでは CASB をインテリジェンスとして用いることで、セキュリティ監視および業務監査まで含めた運用を行っています。CASB を用いた信頼できるクラウドサービスの選定方法や運用設計において学んだことや気がついたことを、みなさんと共有したいと思います。
17:10～17:20	質疑応答	
17:20～17:40	休憩・パネルディスカッション準備	
17:40～18:40	パネルディスカッション	ゼロトラスト環境下でのネットワークセキュリティ ～real SDP 各社が集結し、利用者の課題を解決します～ パネリスト 矢部沖比古 ベライゾンジャパン合同会社 太田拓也 テクマトリックス株式会社 小池泰治 マクニカネットワークス株式会社 石井敏満 SDPWG メンバー モデレータ

		<p>諸角昌宏 一般社団法人 日本クラウドセキュリティアライアンス 業務執行理事 CSA リサーチフェロー</p> <p>本パネルディスカッションでは、ゼロトラスト環境でのネットワークセキュリティとして脚光を浴びている SDP (Software Defined Perimeter) についてディスカッションを行います。特に、実際に導入・利用するにあたって、利用者が抱える課題についてディスカッションを行い、SDP の効果的な利用方法について検討します。</p>
18:40~18:50	閉会挨拶	<p>諸角昌宏 一般社団法人 日本クラウドセキュリティアライアンス 業務執行理事/事務局長</p>
19:10~21:10	懇親会 (場所: プロント)	

* 講演プログラムは予告なく変更されます。下記日付を確認の上、最新のプログラムを参照してください。

(2019年11月14日)